

話し合ったテーマ

基礎自治体ごとに話し合いたいテーマを事前に設定しました。

少子高齢化によって失われつつあるつながりの再構築

自治体名

嬭恋村

課題の構造図

テーマについて詳しい方や対象者へのヒアリング、自分自身の経験などから、チームのメンバーで課題を引き起こしている要因同士の複雑なつながりを紐解き、整理した図です。



フォーカスした問い

チームで話し合い、課題の構造図の中のどこにポイントを絞るといいのかわき、誰の・どんな行動を・どう後押しするのか？を、「問い」のかたちにまとめました。

1 参加者全員がメリットを感じられる場が少ない

地域との交流に精力的だけどその余裕がなく、もどかしい思いを持つ地域のキーマン、地域住民が無理なく活躍できるような状態やきっかけが生まれることで参加者全員にメリットがあり、負担なく継続できるコミュニティをつくるために、何が可能か？

2 今ある資源の周知不足と多世代が集まりたくなる場所・集まらざる得ない場所が少ない

地域で交流するためにお茶会や現役世代と高齢者の交流会などのイベントを企画し、住民、事業者等が参加してもらいたい住民に、イベントの存在をしっかりと周知し、情報を届けることで参加してもらい、地域がつながるために、何が可能か？

3 生活の動線上にある交流の場が足りない

普段は地域とつながりの全くない住民が生活圏内もしくはその少しだけ先に交流の場が用意されることで従来の生活を変えることなく地域に緩くもつながるために、何が可能か？

未来の種

問いに対して、どんなアクションを起こすとより良い未来につながるのか、チームで話し合った意見の中から、特に実現してみたい「未来の種」となるようなアイデアの一覧です。

ASAMANIA	5月から7月に、小中高生や移住希望者を対象に村中の事業所の協力のもと村の仕事を体験できる制度をつくる。地域キーマンの育成や、地域コミュニティの担い手を養成することを目指す。	あがつマッチング	村内で村民が困った人と村民や地域外で協力できる人や問題を解決できる人がマッチングできる仕組み。参加報酬制度や周知方法をもった体制を構築する。
心も体もスっぱだか！	運動に適した春・秋頃、村内の温泉施設で、イベントに参加する各地域の高齢者同士が背中を流し合うことにより施設利用料金を無料とする。さらに、スマホの使い方のレクチャーも実施する。	村長のおごり	夏を中心とした暖かい季節に、村や、町内の人たちが集まる場所に、自治体や事業者によりベンチ、駅併設型カフェ、つながり自動販売機の設置を行い、村中のふれあいや、つながりを増やす。